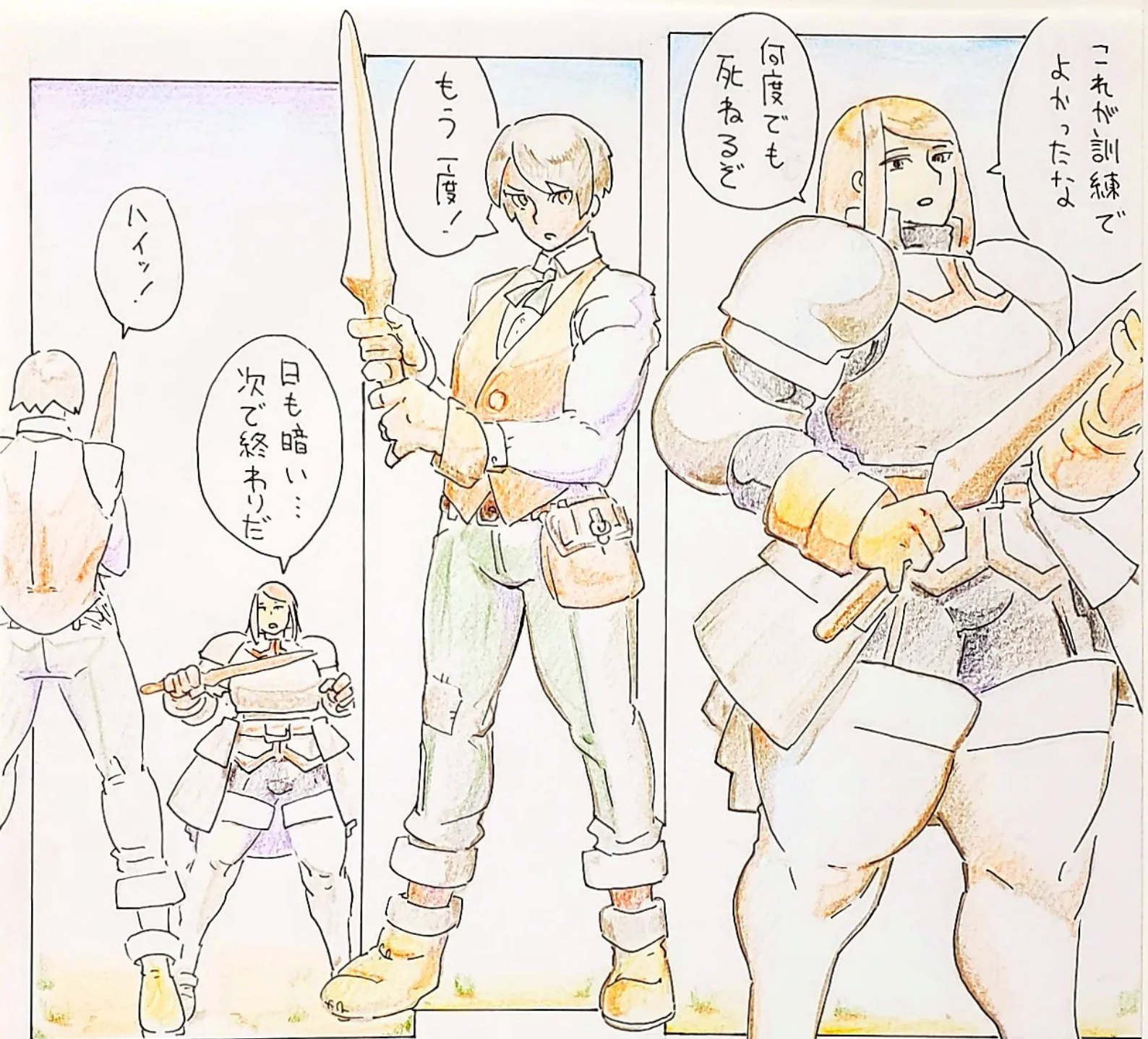
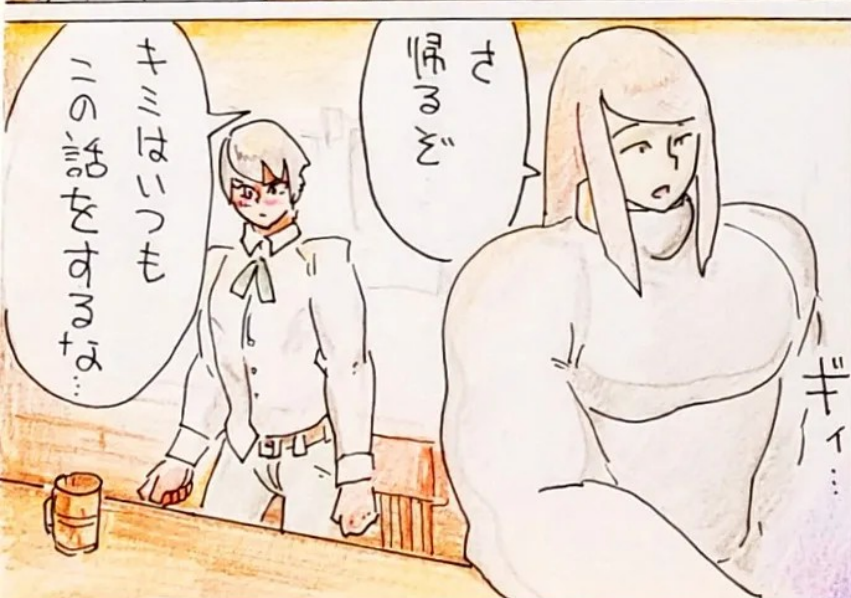
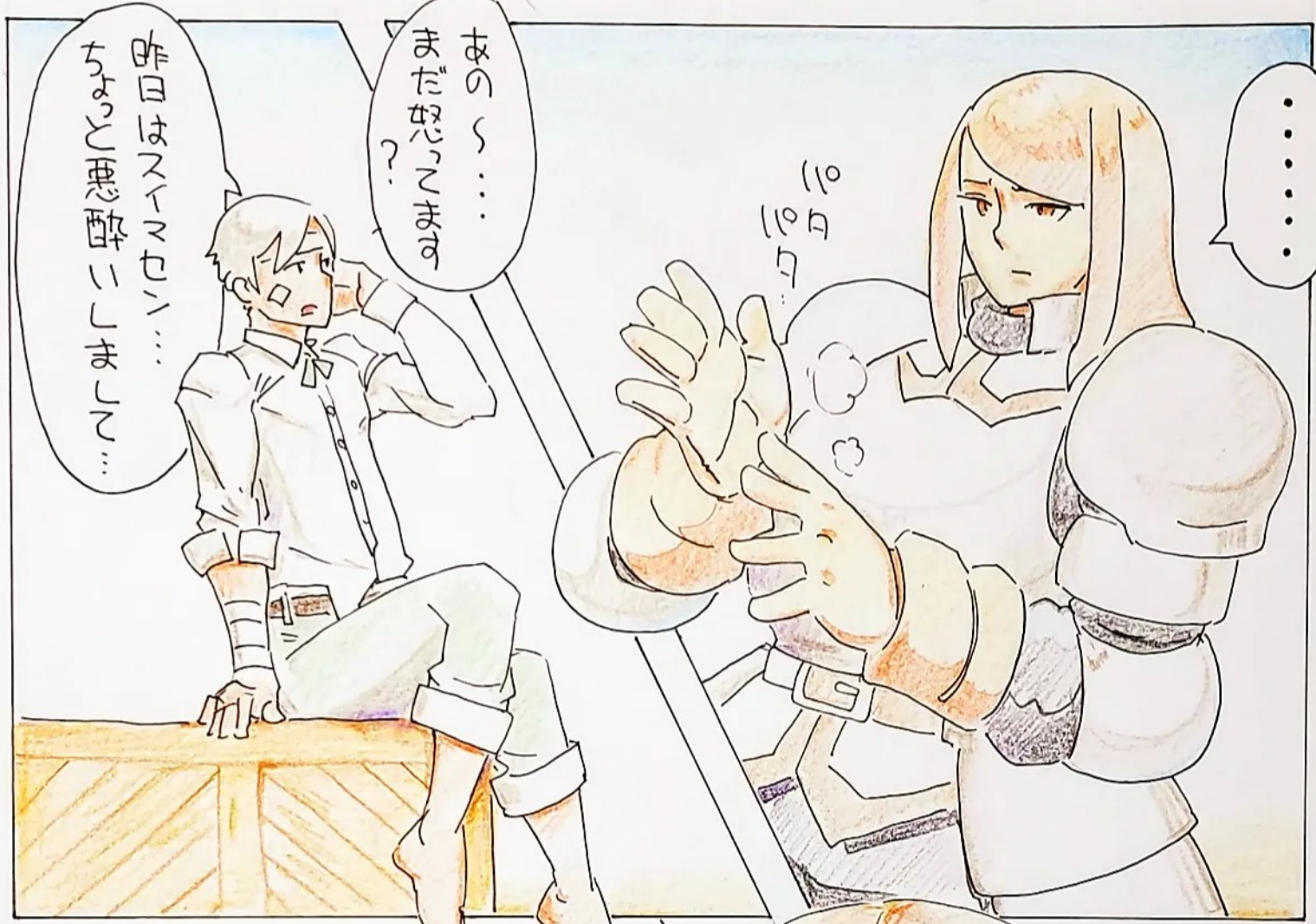






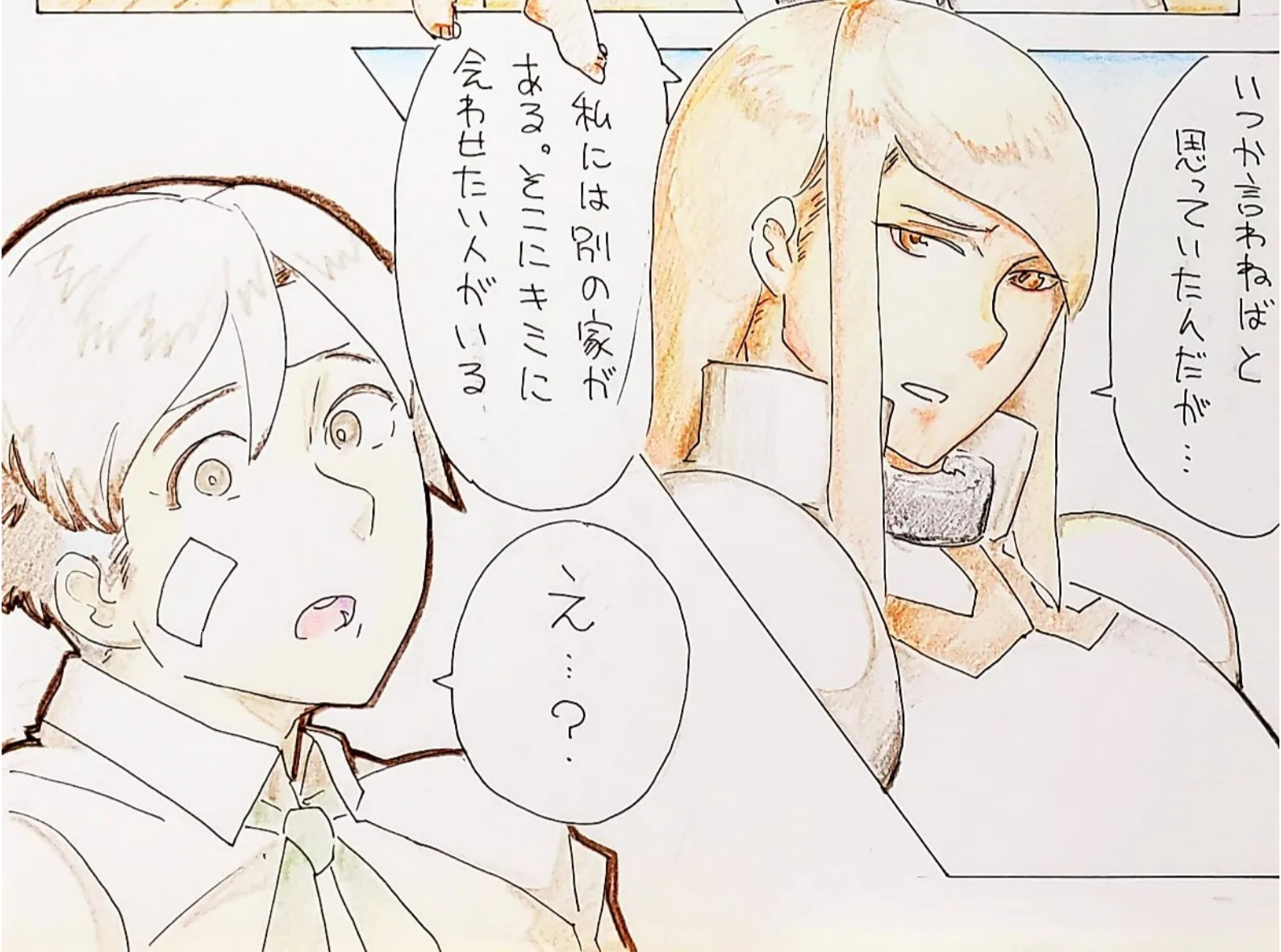


.....

11月
10日

あの...
まだだ...
？

昨日はスイセン...
ちやうど恋しい...
こ...



いつか...
思っている人だか...

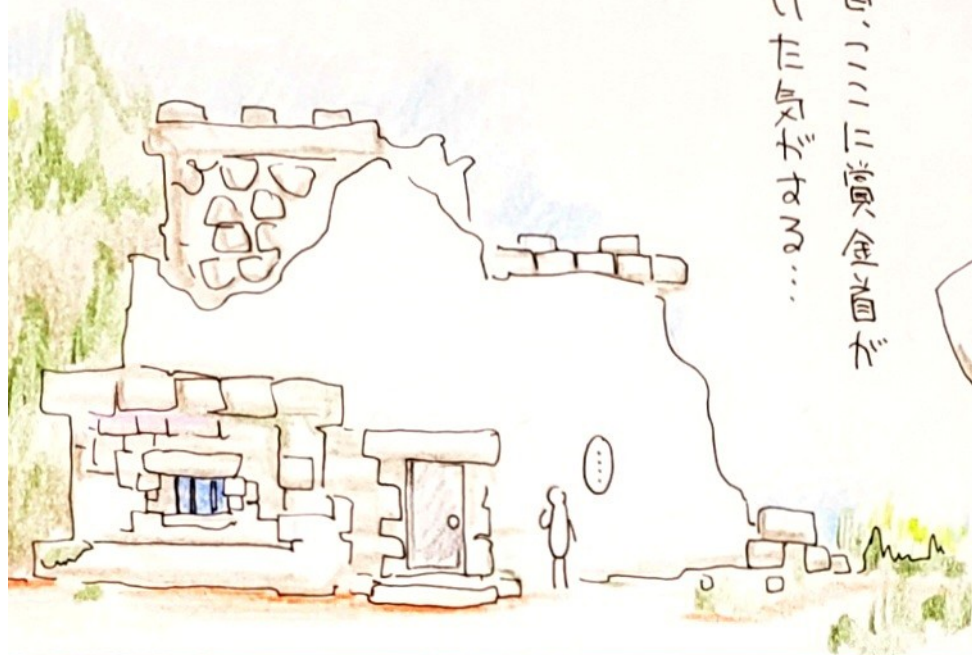
私には別の家がある。
そこにキミに
会わせたい人がいる

え...？

何かいいかある...?



井田、井田、金田、金田、
いたががが...



ギョ...



はいません
お邪魔しますよ

師匠...!

いって...?



スシ...



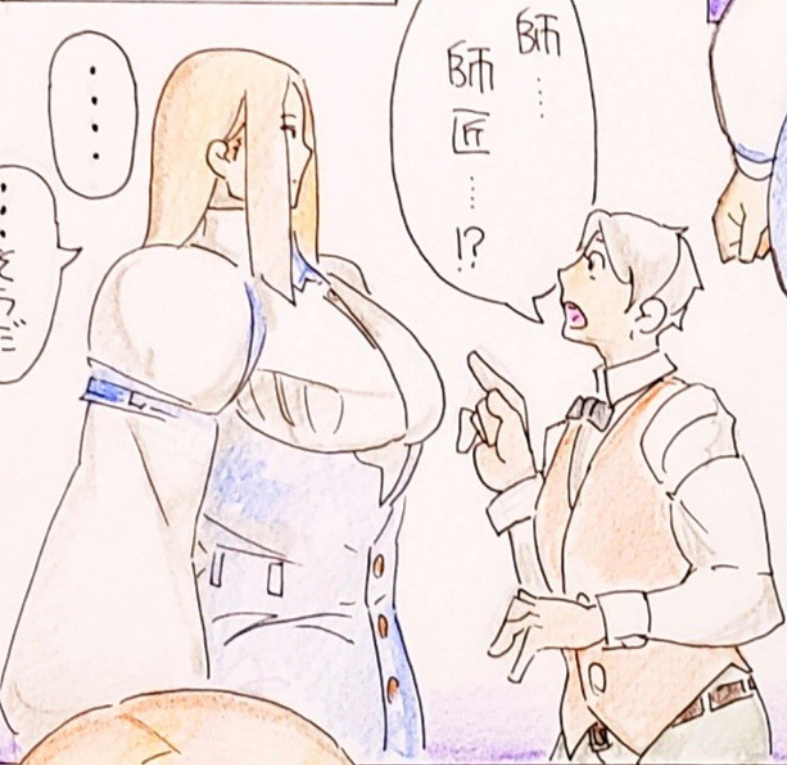


よく来てくれた...

...



それに...
その服は...



師匠...
師匠... !?

...そうだった



この... 葉
胸に刺さるよ

まさか師匠が...
あのまじな行方とは
程遠いんだとば...こ...

ただ、キミも
知っているはず

許されないうる
ほど心が求める

君が私の手袋を
使って楽しんでる
事は知っている

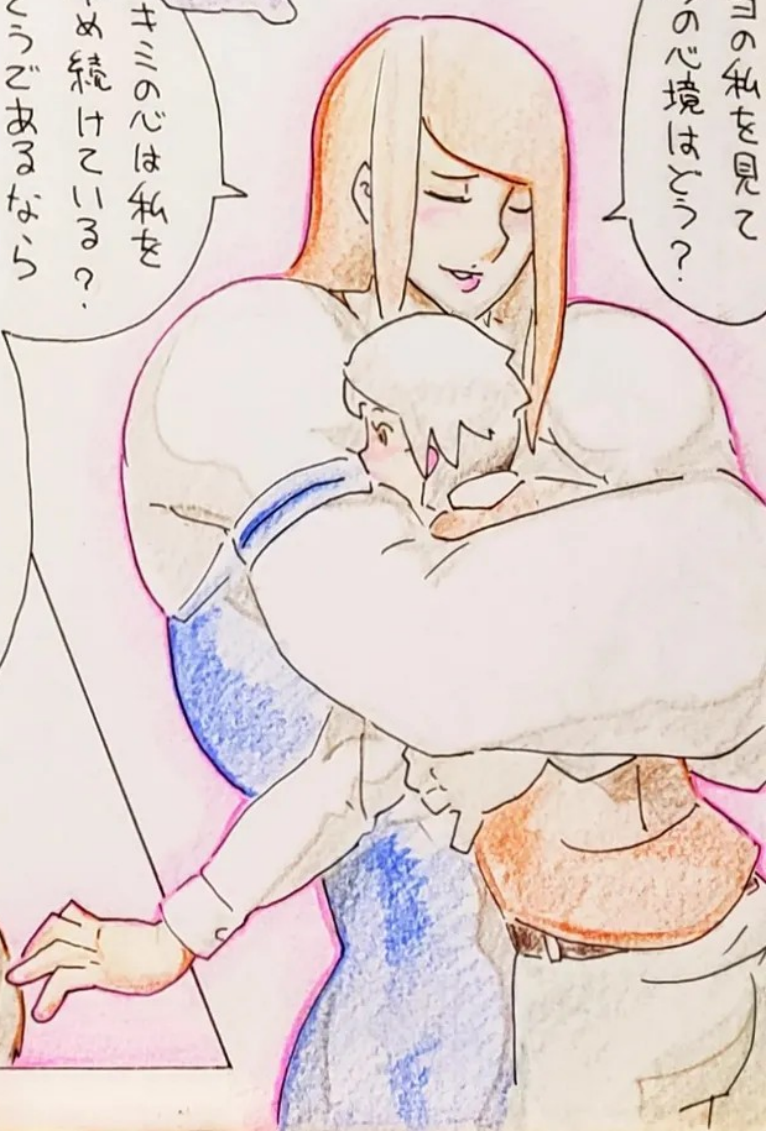
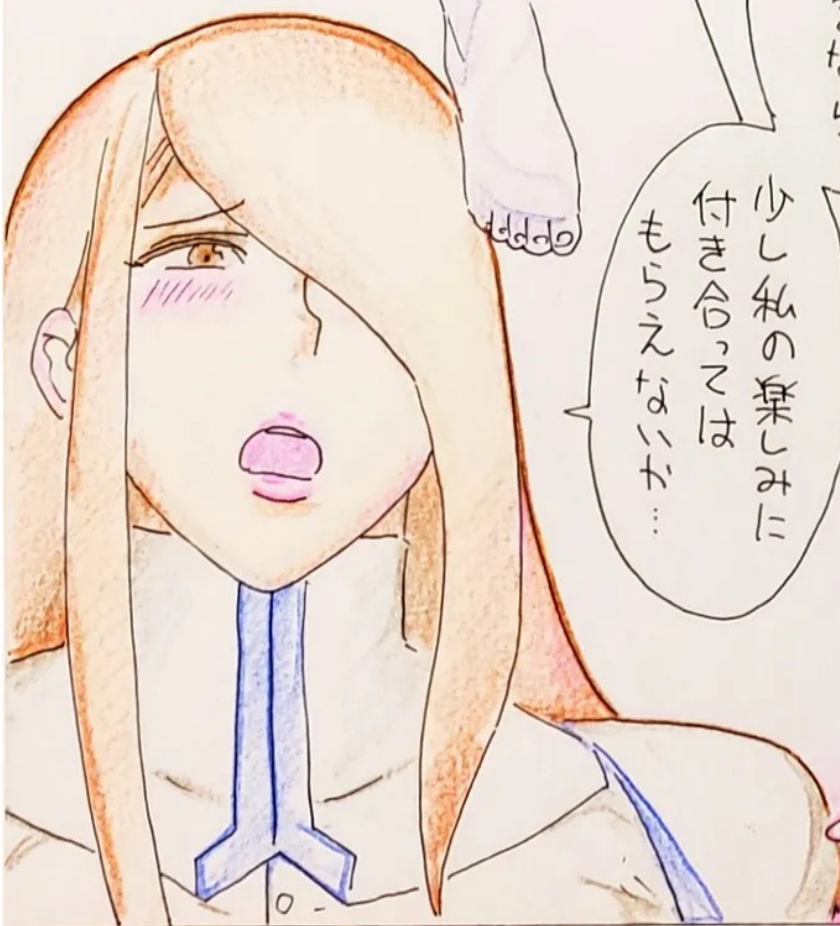
あ、っ、っ

師匠……♡

本当の私を見て
今の心境はどう？

キミの心は私を
求め続けている？
そうであるなら

少し私の楽しみに
付き合っては
もらえないか……



私の楽しみの
代償だよ…
いや、成果と
言うべきか

どうした？
ムスになるのか？



師匠…
その…体…



キミの前で
裸になるのは
初めてだったね

何ですか

「ム」



毒!!



お母様は

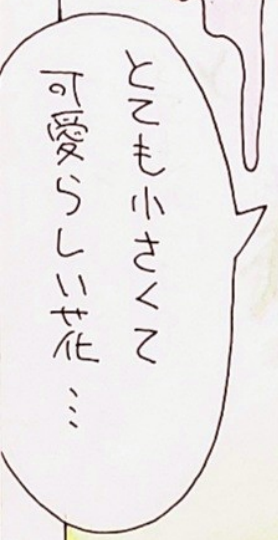
その毒を飲まなくて
女らしさが減る人
が女で飲むの



世の中には

自分の身を守るため
母性本能として持つ
毒が女であるべき

とでもいって
お母さんには



体が...
熱い...

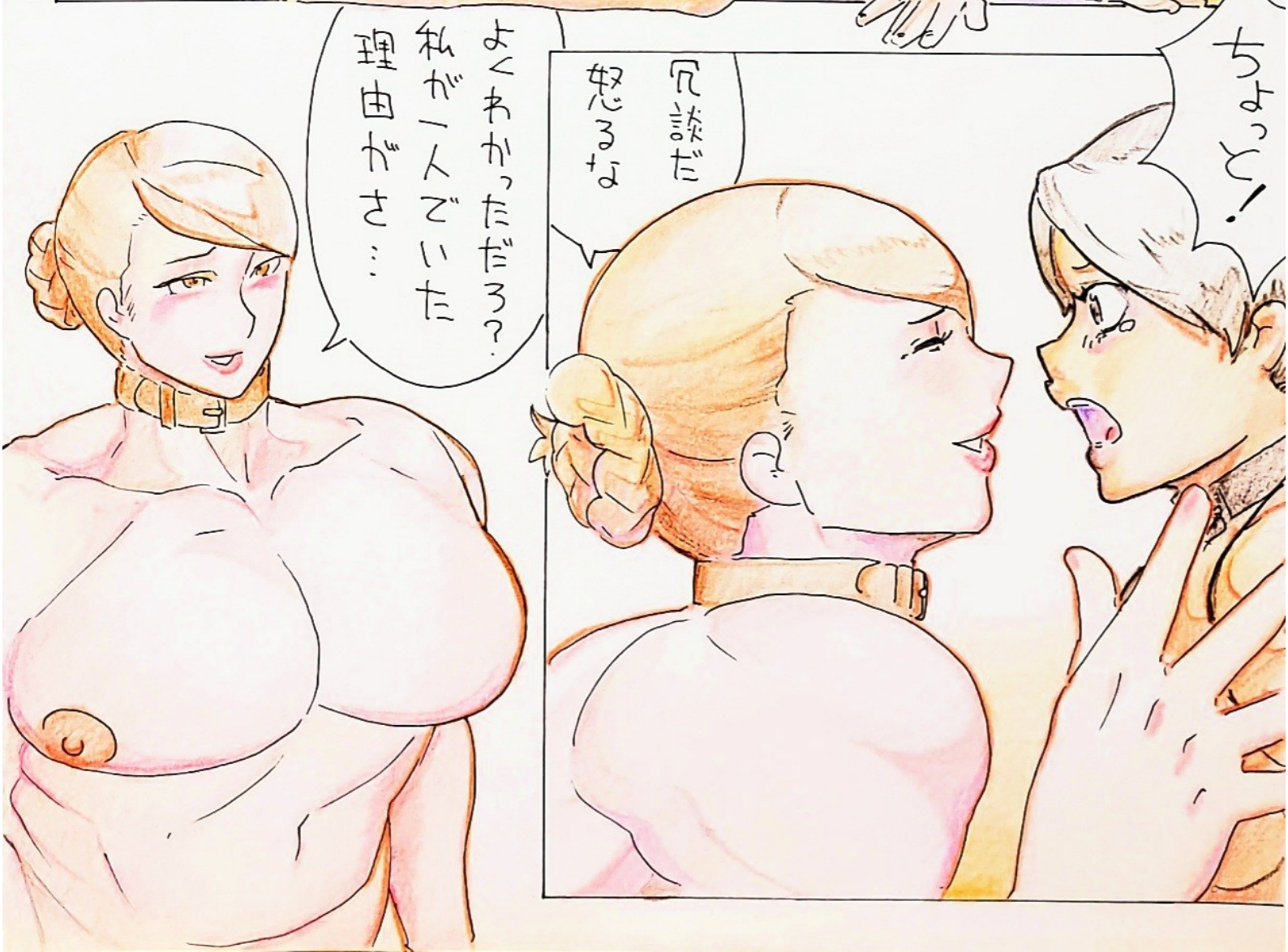
この薬は

飲むよりも
塗った方が
効くんだよ

効果は私が
よく知っている

そんな自身の変化に
私はたまらなく
欲情してしまう





でも…そんな師匠が
僕と…うして秘密を
共有してくれた

それってつまり
僕を選んだって…
…と…?

そうだな

そしてそれは
私を受け入れて
欲しいとも
言いは直せる



それはつまり…私は…
私でよければ…

その…

む…

さっさと服を着ろ…

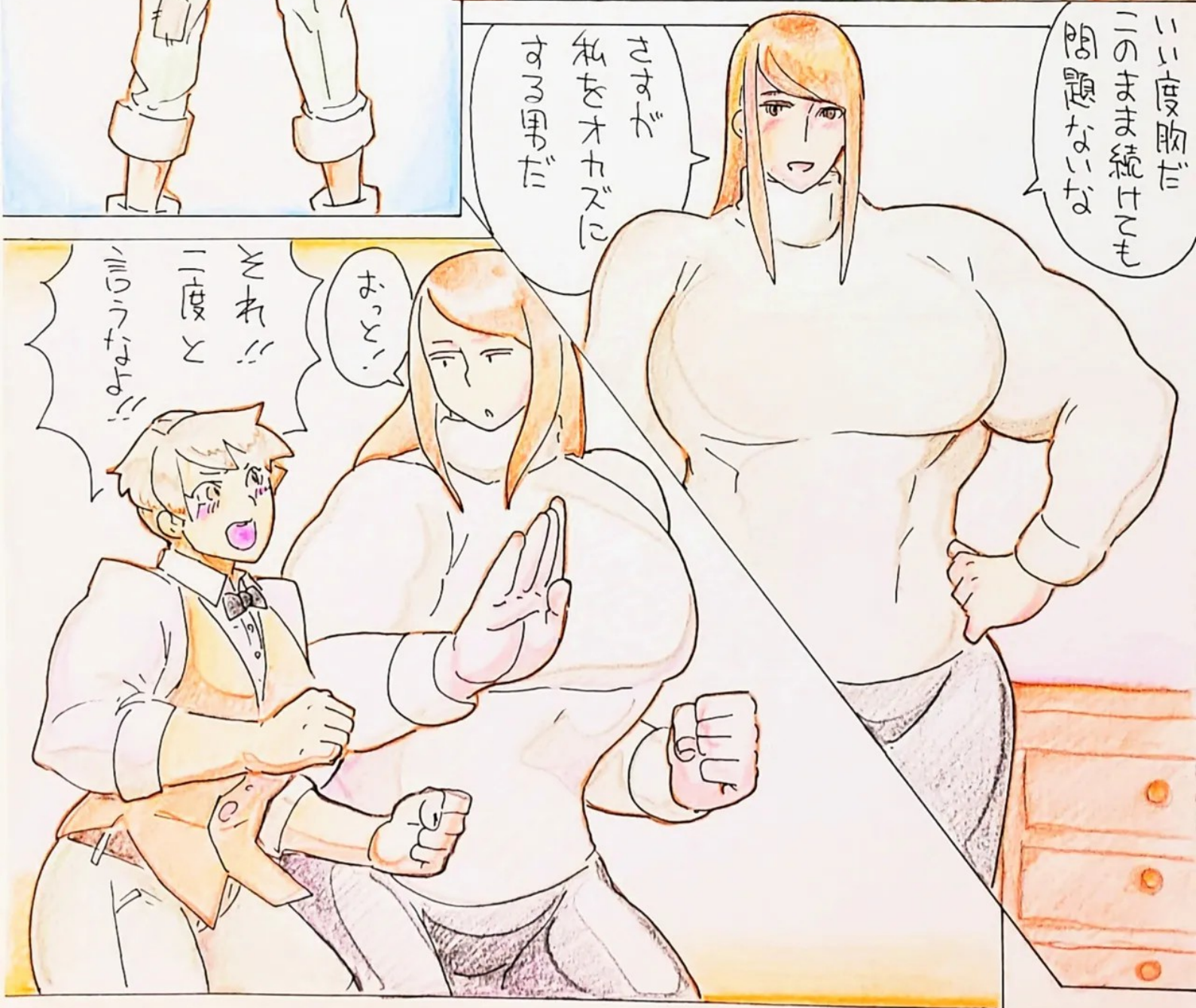
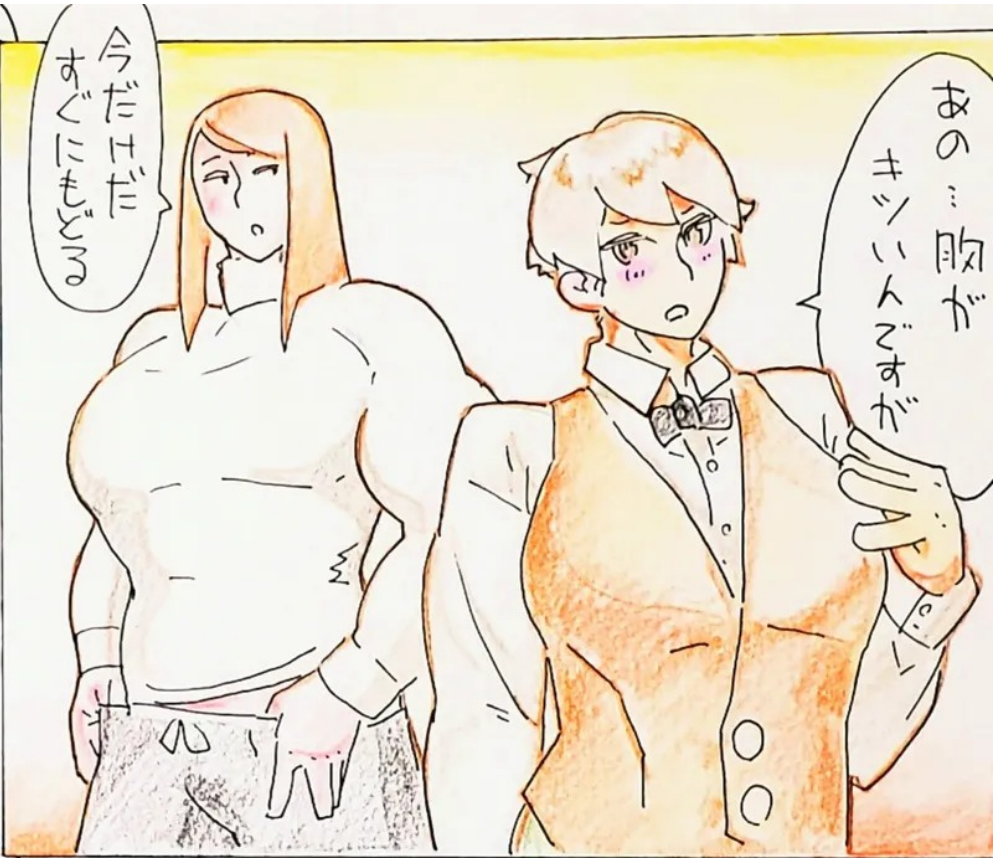
今日は終わらした

ハイハイ



ん…?





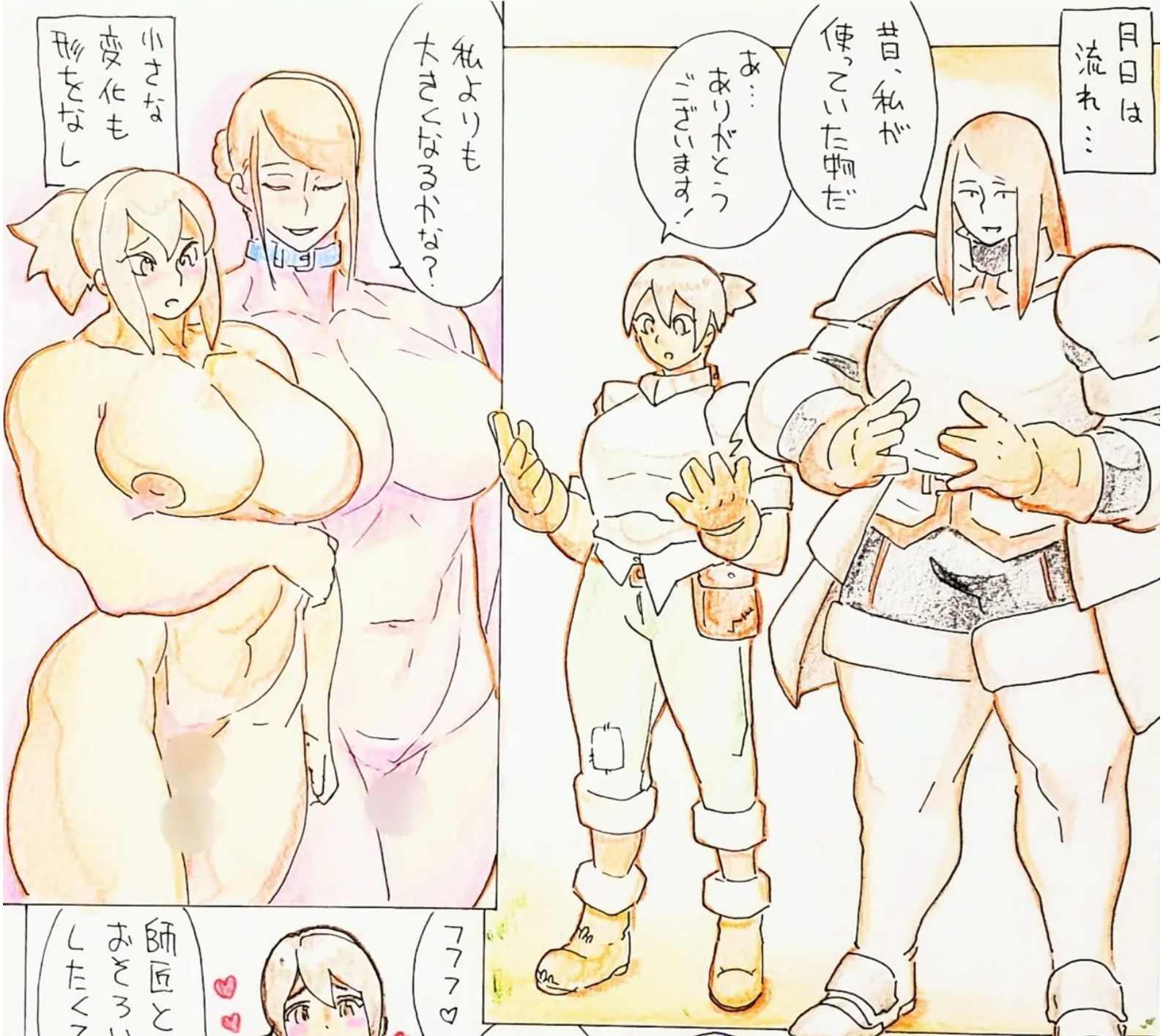
月日は
流れ...

昔、私が
使っていた物だ

あ...
ありがとう
ミズゴメさん、

私よりも
大きくなってるわね...

小さな
変化も
形をなし



過ごした日々を
体で感じる
程となった...

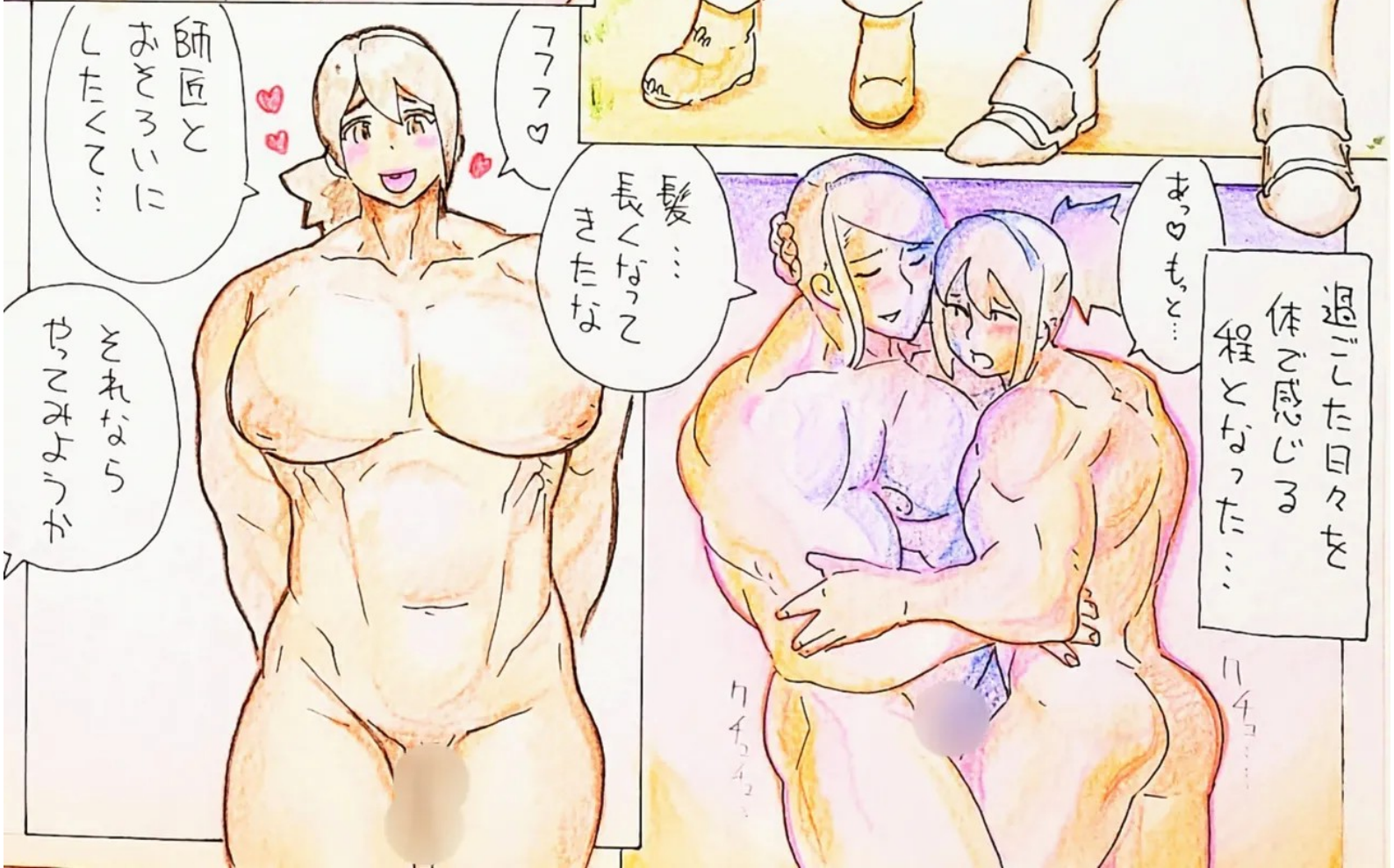
あ、心も...

髪は
長くなっ
てきたな

フフフ♡

師匠と
おそろい
したくて...

それなら
やってみようか





鏡見こる
ところも
ステキよ
ところど
師匠さ...

どうかな？
似合ってる？



んあ♡

師匠のココ
こんな色でした？
それに感度も...？

キミの胸の成長が
こらやましくて…
効率良く体へ入れる
為に注射してみた

胸は大きく
なったが

何か
しばらく
出続けた

大きさは戻ったが
色が変わったまま

今でも時々
何か出る…

この
色いかな



普通のほかに
隠れキリシタ...

あ、
それで...

この町の訓練の時
辛そうだったんですが



キミには
お見通し
だったか

ただ...絶対に
この秘密を他人に
知られるな

私は他人の常識
と戦えるほど
強くないんだ



悪いふだ…
私の姿を聞いて
いたのか!?

そもそも注射器の
使い方は教えたが
はず…無茶はするな、

これいいような
悲しいような…

もう…
一人前か…

一人で仕事をこなすめづりなう…

自分で考える行動を起す

あっ

フ...

強くなった

まだ手が
痺れてるよ

これから先

私は何度キミに
負けるのだろうか

どうした？

今日は調子が

悪かったのですか？

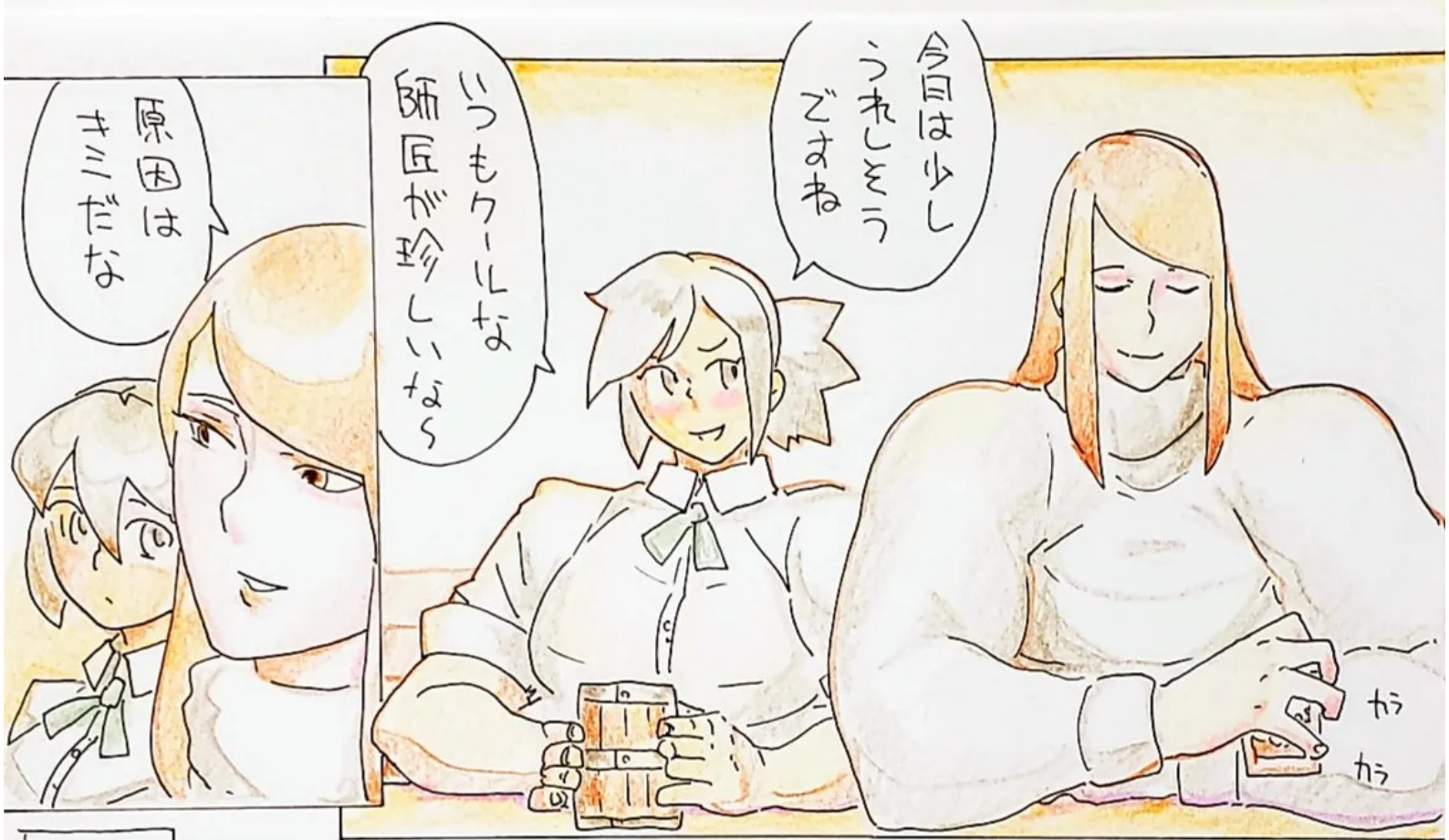
僕に負けるなんて...

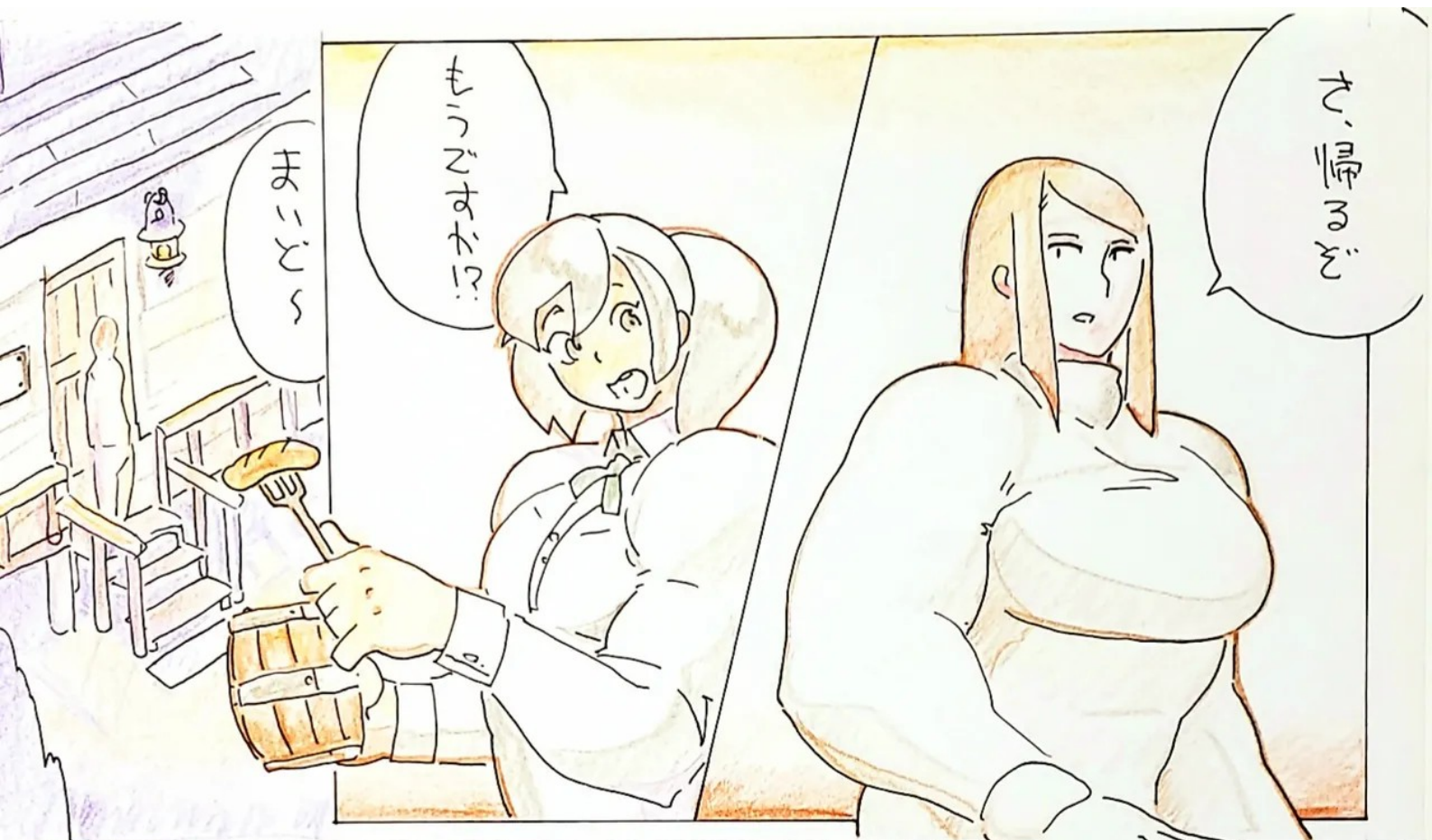
ごも悪い所は キミは強くなった

ないと思うんだが ただそれだけの事だ

来るべき日が
来たんだよ

...

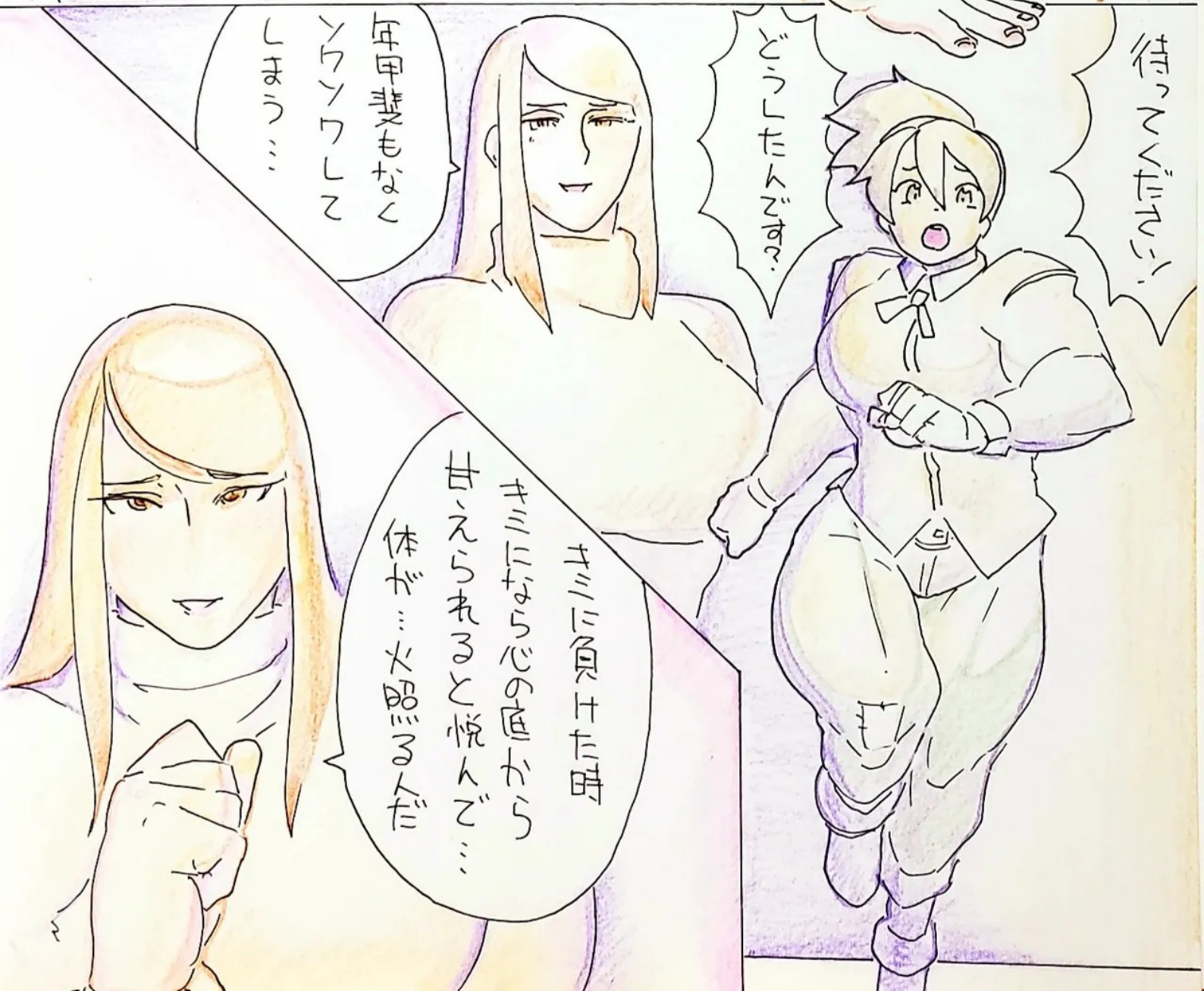




ん、なんだ

もうござない!

まへへ



待って、待って!

どうしたんですか?

何甲斐もなく
ソワソワして
しまっ...

キミに会った時
キミにならぶの頃から
甘えられると悦んで...
体が...火照るんだ

初めてだ...

師匠の方から誘ったのは



子供...

相手をしっかり見て襲え

はきたいのなら弱者を狙え

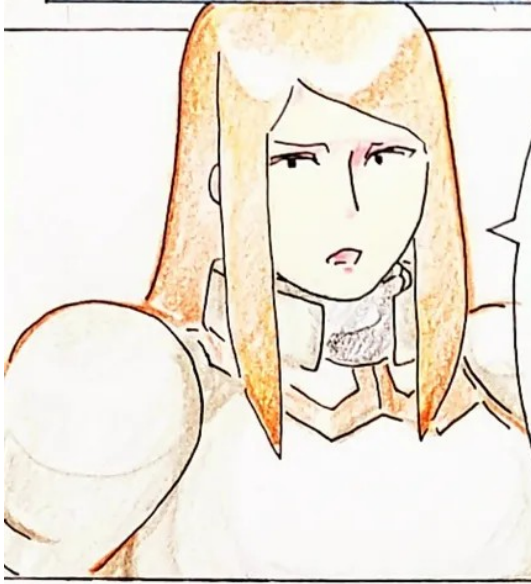
あんなに強かった師匠



人生の行き止まりに道をくれた師匠

しっかり働け

他にお前を弟子にする理由はない



男が好きになった原因は私が...?

こんな私でさえ受け入れてくれた師匠

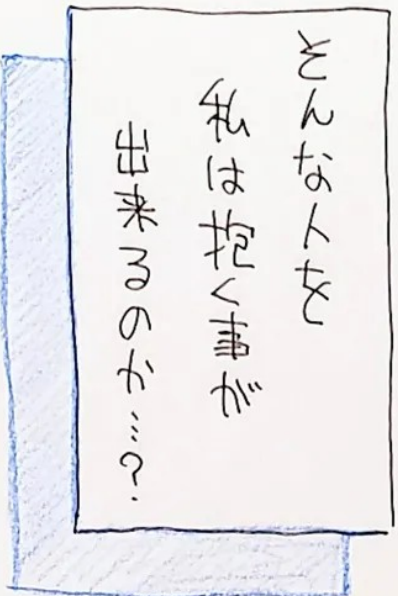
責任重大だな



そんな人な

私は抱く事が

出来るのか...?



今さらだけど
恥ずかしいな...

よく来てくれた...

圧倒されるー
...

まるで別人だ...

あの...

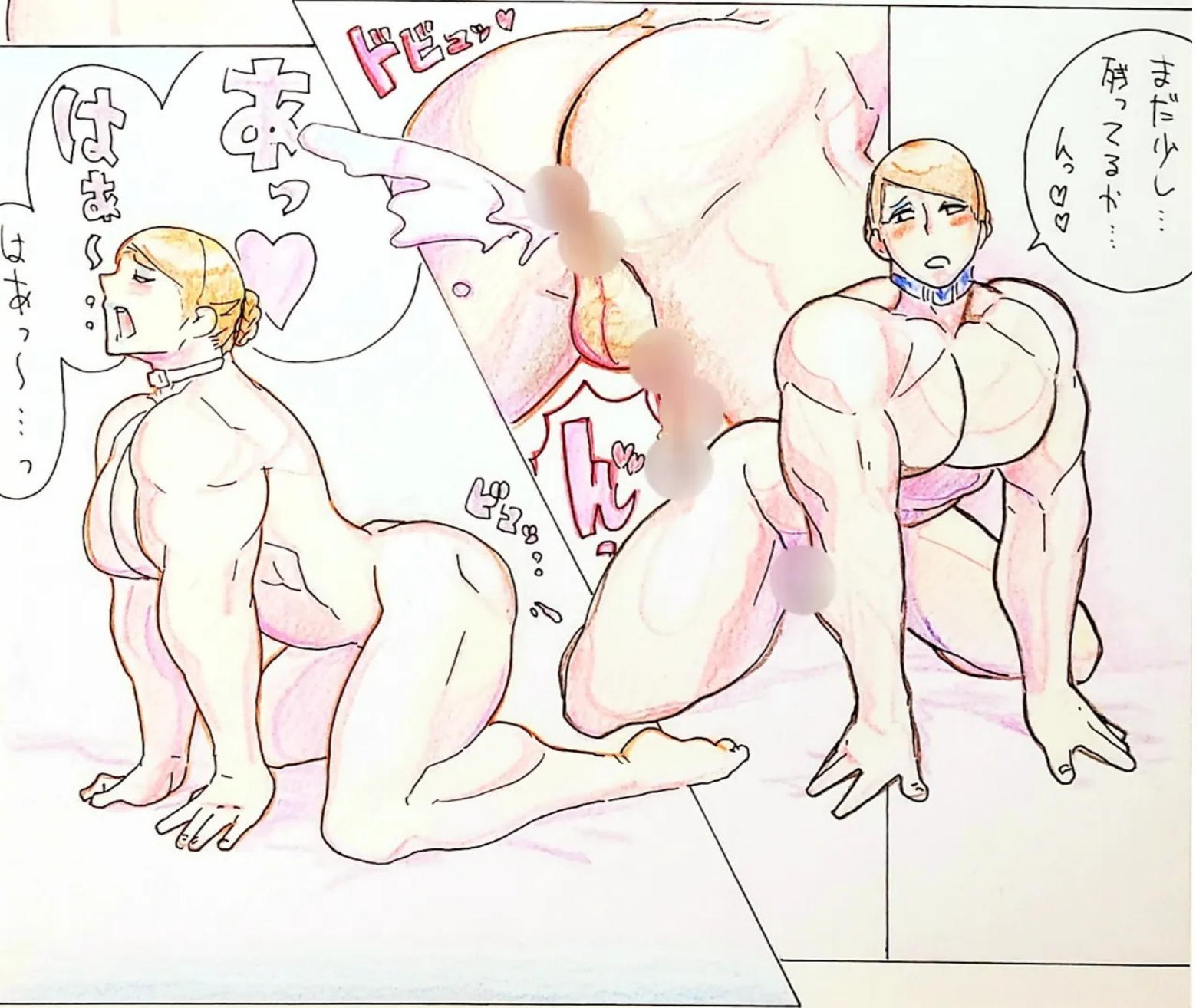
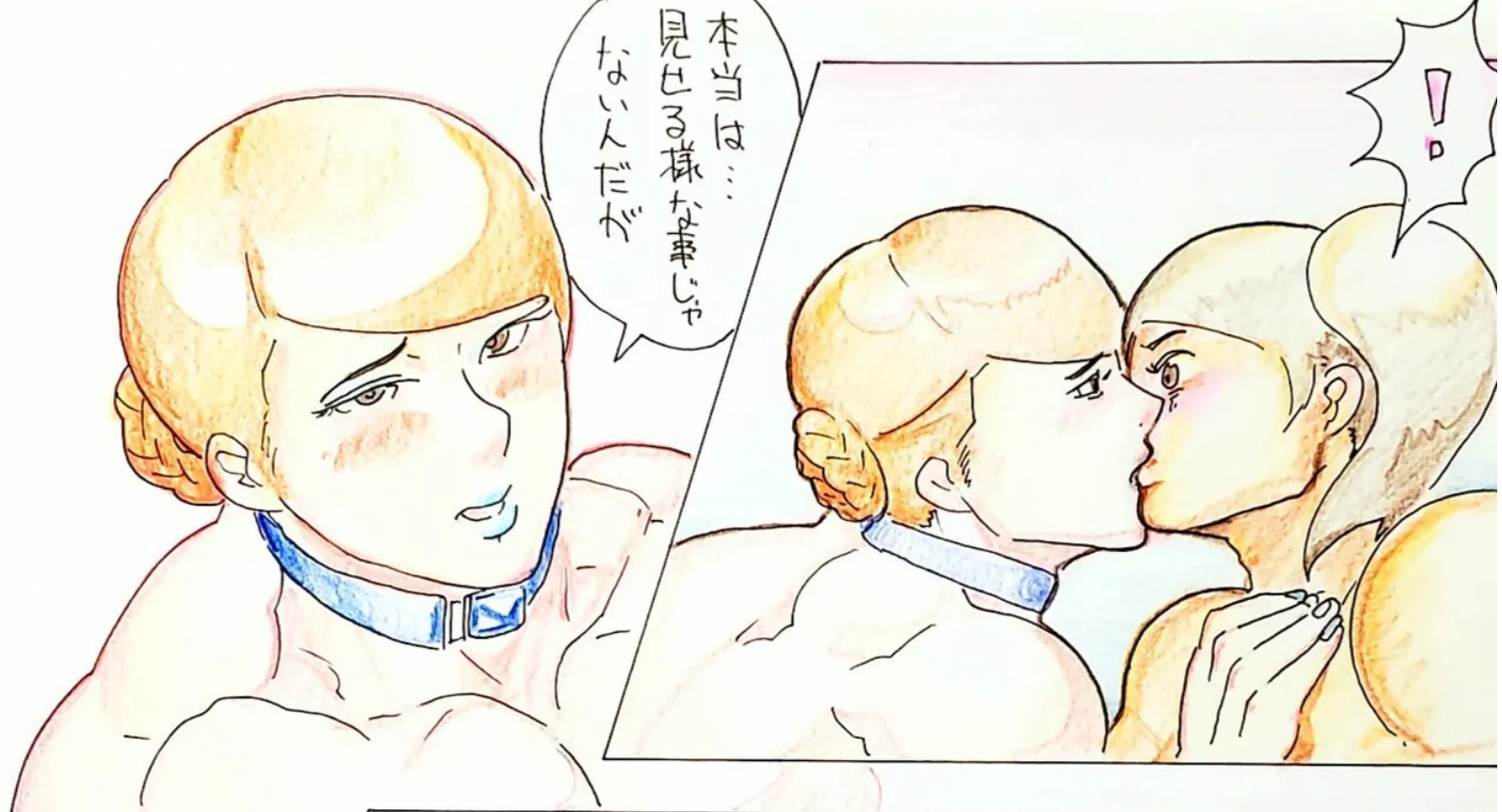
あの...

えっと

...

...











待ってシ

このペースじゃ
僕の役目を
はたせなくなる

ゴメン…
調子に
乗り過ぎた



ずっとトで
慰めていたから…
今この時がうれしくて
うれしくておたない



私に
男を教えて
くれ…

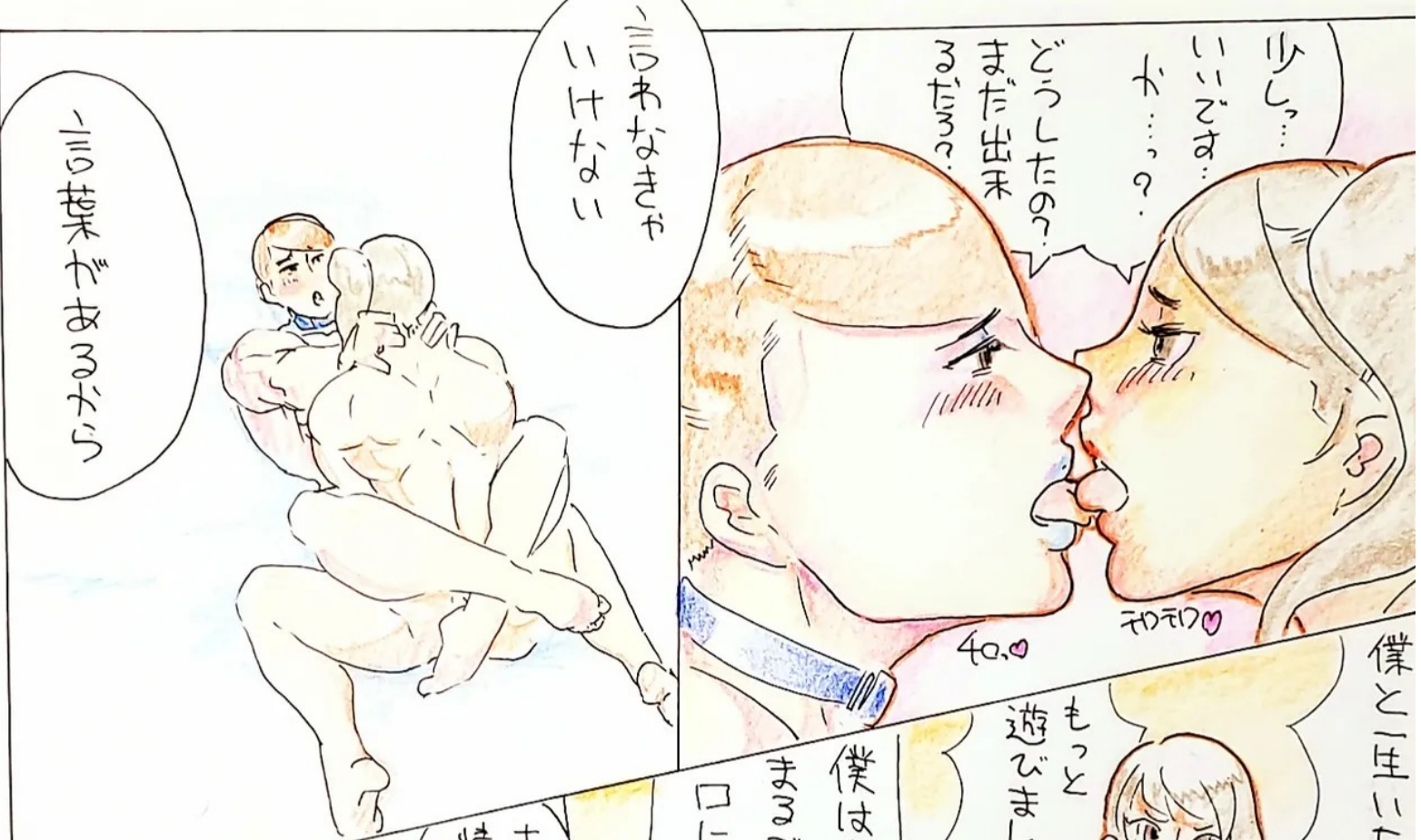
…さあ

フフ…









いいです...

ホ...?

どうしたの...
まだ出ま
るだま...

うっわあなまが
いけな

うっわあなまが
いけな



僕と一生いたいんですか？

もっと
遊びましょ

僕は今まであなたに対して
まるで伝える気のない白を
口にしてきりていた

あの時は

あれが
精一杯だった



でも、そんな白のまま
こんな関係になってしまっ...
今更には白なんてしても
昔の意味なんてないかもしれな
い...
それでも、うっわあなまが
いけな

師匠

あなたを

愛してる

.....
たまたまなく
キミが愛しい

グイッ....

今までの私達の
やりとりなんて
お互いの性欲を満たす事を
認め合っただけだった

フイッ..ガッ...

キミが今、私に伝えた
気持ちの無さな感じが
ハロロ...

まるで私に

んっ♡

婚姻を...
迫るかの様だった

だから

垢言っよ...

私も君を愛しています

グッ...
グッ...♡





はぁっ……
あ……

はぁ……あ……

あ……♡……
ドキドキ……

あ……♡……

え……？
あ……♡……
あ……♡……
あ……♡……

あ……♡……
あ……♡……

おはよう

目が覚めたか？



あー

おはようございます



朝食に
しよう



っ...

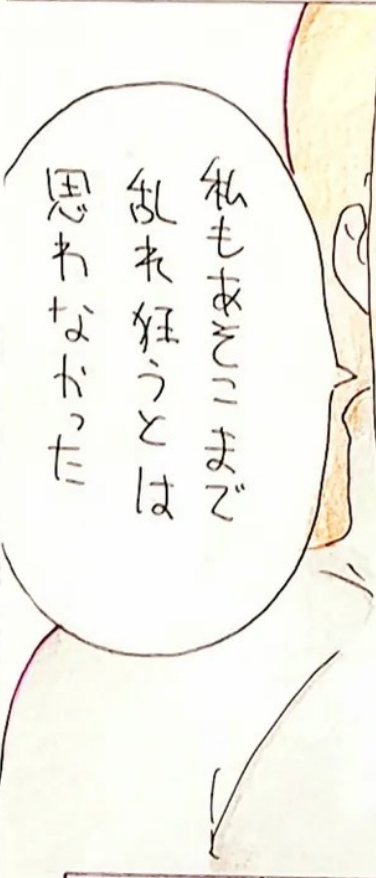


昨日は
やり過ぎちゃっ
ましたね

う...うむ...



私もあそこまで
乱れ狂うとは
思わなかった



今更だが

恥ずかしいよ

この趣味さえなければ
キミも私も少しはマトモ
な人じゃあったろうに...



性癖だけが異常
みたいになってます
けど...その...

もっとヤバい所が
あるんですけど

どういう...
意味かな...?

そもそも命を
狙った強盗を
弟子にして
一緒に暮らして
るんですけど...

頭おかしい...

フフ♡
おぼろげに覚えてるよ、

その強盗をたに盗み無くなつて
みんなもいなくなつたから♡

おわり